

令和4年度 和光市立新倉小学校 第5回 学校運営協議会議事録

- 1 開催日時 令和5年2月14日（火曜日） 11:00～12:20
- 2 場 所 和光市立新倉小学校 校長室
- 3 出席者 宇部 章子 林 房夫 花谷 佳弘
田中 広道 片山 義久 鈴木 恵治 土井 純子
(出席者7名 欠席者2名) 島崎 秀 (事務局)

4 【協議内容・報告】

(1) 令和4年度学校評価について（教頭より）

- ・別紙の学校評価集計表（自己評価）及び学校評価保護者向け集計表について説明
- ・働き方改革について推進していることを嬉しく思う。SSSや支援員など教職員の負担軽減になっているようなので今後も継続すると良い。
- ・まだまだ改革できる点があると思う。例えば会議の多さ（時間の長さ）、保護者のクレーム対応など、留守番電話導入は、大きな成果があったように思う。
- ・勤務時間内に会議は設定しているが、内容によっては休憩時間に入ってしまうことがある。その場合、調整を取ってもらっている。
- ・校帽についての意見は出ていないか。市内の他校では、男女の校帽が違うことでジェンダレスの観点から近々、変更するという話もある。
- ・新倉小学校では、まだ、そのような話は出ていない。今、意見が出たとしても校帽を変更するのは議論をして2年後位になるのではないか。
- ・学校評価の中に施設設備の問題で男児、女児の着替えについて中学年や高学年は、男女の着替え場所があるようだが、低学年はどのようにしているのか。低学年であっても一緒だと好ましくないと思うのだが。
- ・確かに、3クラス合同の学年での水泳の授業時などは、着替え場所を取ることができるので別々に着替えさせているが、通常の体育等の着替えは、低学年は男女同じ教室で行っている。施設設備の問題で部屋の確保が難しいのでカーテンで仕切る等、今後、検討していく。

(2) 次年度以降の学校運営協議会委員について（学校長より）

- ・別紙のとおりお声掛けをし、内諾をいただいている。
- ・PTA会長が次年度以降変わる予定だが、会長として学校とのつながりを持つようにこのまま残っていて良いか、新しい方へ変わった方が良いのか。
- ・できればお残りいただいて、新PTA会長にも委員になってもらえれば、学校として更に継続したつながりがもてる。会長交代の話は初耳なので確認して調整していきたい。
- ・幼保小連携の意味で幼保からの委員の選出は無いのか。
- ・まだ、人数は増やせるので今後、検討していきたい。

(3) 150周年について（進捗状況）

- ・推進委員長は決定している。今後、連絡をとって進捗状況を確認していきたい。

(4) CS ディレクターより情報提供

・大和中学校区地域学校協働本部が2月3日に坂下公民館で行われた。新倉小学校として「低学年の朝の見守り活動」を地域学校協働本部に依頼した。期日が短く、対応が難しいとのことだったので新倉小CSディレクターから民生児童委員に連絡をとり対応をお願いした。2学期後半から現在まで継続して見守り活動を行った。2月14日現在、児童は落ち着きを取り戻したため一旦終了し、また次年度新たに状況を見て依頼があれば対応する。地域学校協働本部としては、急な依頼への対応は難しいので、年間の計画を見通した協力要請をお願いしたい。

(5) 任期満了にあたり学校運営協議委員から

A 委員：力不足の点は否めないが、自分なりに新倉小学校に尽力した6年間だった。

B 委員：民間の立場から働き方改革を進言してきた。働き方改革が進んでおり、さらに成果が出ていると聞いてこれほど嬉しいことはない。昔から人材活用という言葉があるが現在は、「人は資本であり、人への投資は重要である。」と言われている。有能な人材を確保するためにも学校も人を十分に活かす組織であってほしいと願っている。

C 委員：おやじの会と連携して新倉小学校のために尽力してきた。テニスボールの穴あけ、ジャンピングボードの補修など、依頼があったことにすぐに対応できた。自分の存在意義があったと思う。

D 委員：元学校の教職員として経験から様々な意見や提案をさせていただいた。次期委員にも同僚がいると聞いて何かの縁を感じている。何かあれば声を掛けてくれれば来校してお手伝いする。

E 委員：本校を校長として退職したが、委員になってここ数年は、コロナ禍であることもあり、新倉小学校の先生方との交流が少なかったのが心残りである。今後、そのような機会を多く設けていただきたい。

(6) 授業参観の予定であったが、授業が終了してしまったので委員の皆様へ1, 2年生の給食準備を見ていただいた。

(7) 給食の試食

5 事務連絡

- ・「令和4年度学校関係者評価について」の提出を依頼。